

図2 設計者選定時の横文彦氏の提案内容(抜粋)

【基本設計に至るまでの経緯】

新庁舎の基本設計に至るまでには、図3に示したように、様々な検討過程がありました。現在の本庁舎は、1970年に建設されましたが、その後、耐震性能や庁舎の分散・狭あい化など多くの問題を抱えることとなり、行政や議会を中心に、問題解決のための様々な検討が行われてきました。このような状況の中、1999年に庁舎移転を視野に入れて森野二丁目の用地が購入され、以後、庁舎の問題解消のための本格的な検討が市民を交えて行われるようになりました。

2004年3月には、市役所の位置を定める条例の一部を改正する等の条例案(森野二丁目用地への移転条例案)が、議会に設置された庁舎等検討特別委員会の検討を経て、本会議において、出席議員の3分の2以上の賛成により可決されました。

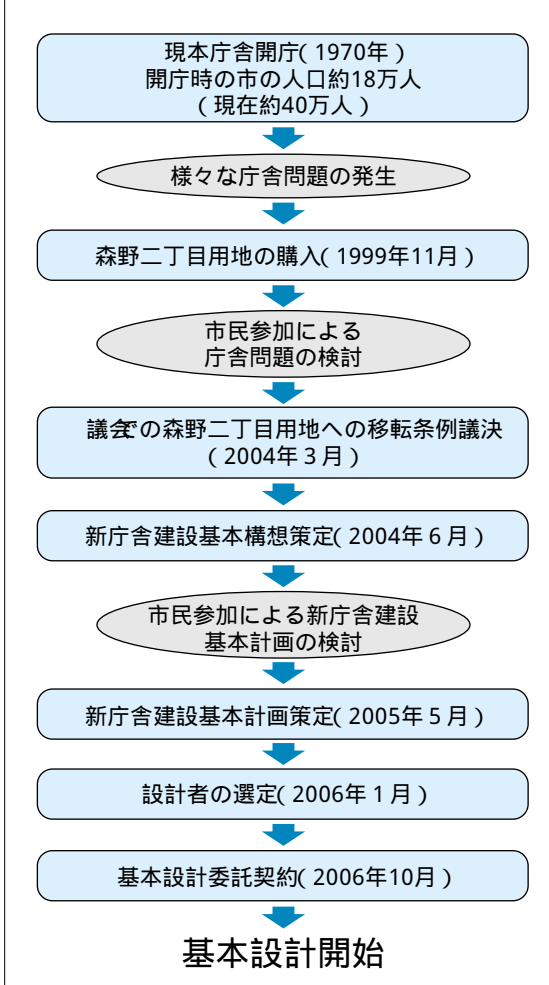
2004年6月には、様々なかたちで皆様からの意見をいただき「新庁舎建設基本構想」を策定しました。また、続く「新庁舎建設基本計画」の策定に際しては、市民部会を設置して、これまでのように単に行政が企画運営する会議に参加するのではなく、市民自らが会議の企画運営を行って主体的に報告書をまとめあげるなど、他の自治体においてもあまり例を見ない、市民協働における先駆的取り組みも行われました。

新庁舎建設の指針となる「基本構想」「基本計画」が、このように市民や学識経験者の参画により策定されてきたことは、町田市の新庁舎建設計画の大きな特徴といえます。

このような経緯から、設計者の選定にあたっては、新庁舎建設の「基本構想」「基本計画」を十分理解し、その方向性に沿った設計を行うことのできる設計者、また、設計の過程において、町田市の特徴を生かし、市民や行政、議会と一体となって多面的に練り上げる能力のある設計者を選ぶことが重要と考え、単に価格のみを選考基準とする入札方式は採用せず、町田市新庁舎の設計を委ねるにふさわしい、適性を備えた設計者を選定するための方式(「資質(適性)評価型簡易提案方式」)を採用して選定しました。

その結果、最優秀者として、横文彦氏が選ばれ、2006年10月に、同氏の所属事務所(横総合計画事務所)と委託契約を締結し、新庁舎の基本設計を開始しました。

図3 新庁舎建設計画に関するこれまでの経過



設計者横文彦氏について

【主な作品】

ヒルサイドテラス(代官山)、幕張メッセ、東京体育館(千駄ヶ谷)、藤沢市秋葉台体育館、スパイラル(表参道)、テレビ朝日(六本木)、国立国語研究所(立川)、福井県立図書館・文学館、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス

【現在進行中のプロジェクト】

ニューヨークワールドトレードセンター・タワー4、三原市新文化会館、鳥根県立古代出雲歴史博物館

新庁舎建設基本設計市民ワークショップに参加を希望する理由と提案したい内容をお書きください。

専用はがき

(1) 参加を希望する理由

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

(2) 参加して提案したいこと

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

アイデア募集中

市では新庁舎建設に向けて、市民のみなさまからのアイデアや提案を募集しています。手紙、ファックス、電子メールでいつでもお寄せください。また、右の応募はがきを利用してお送りいただくこともできます(この場合は3月31日まで)。応募はがきをご利用の際は、スペースを自由にご活用ください。

お寄せいただいたアイデアや提案は、今後建設計画を進めていく際の参考資料とさせていただきます。

【送付先】〒194-8520 町田市中町1-20-23 町田市役所企画部企画調整課新庁舎担当
☎709・0593 FAX709・0613 電子メール(町田市ホームページの「市政情報」「新庁舎計画」「新庁舎建設に関するご意見ご要望」から送信できます)